

1学年通信

Dreams come true

山形県立米沢興譲館高等学校
1学年 第8号
2015. 6. 15 (月) 発行

1年2組 総合優勝おめでとう！ 6月11日(木)・12日(金)

各競技 1位 1-2女子バレー 1-2長縄
2位 1-4長縄
3位 1-4男子サッカー 1-5女子バレー
男子騎馬戦 3位 女子綱引き 2位

初めての体育祭は、1日目真夏日を記録する中、2日目は小雨の中、グラウンドも体育館も熱く試合が行われました。クラスの団結が強まった二日間でした。



3組 一番大きな掛け声で長縄に挑戦



5組バレー女子善戦 決勝、もしや1年生対決！？



4組「〇〇カガンバッテ」の応援で勢いに乗ったサッカー男子 善戦！



1組 みんなひとつになって応援！！



2組応援盛り上がる

～ 私の夢シリーズ④ ～

1組 H. Y. 君

みなさんは今、どんな夢をもっていますか。私には「ディズニーリゾートのキャストになる」という夢があります。私は、キャストさんの素敵な笑顔を見て、この夢を持ち始めました。しかし、私はこれまで夢を叶えるために何もすることができませんでした。そして、興譲館で約1カ月半生活し、毎日が結果につながると実感しました。これからは、今まで得たことを生かし夢に近づいていける生活を送ってみたいです。

2組 K. K. 君

僕は将来、中学校から部活動で続けている卓球のメーカーに就職し、用具の開発などに携わりたいと考えています。その夢を達成するには、大学の工学部に進学して学習する必要があると思います。そのために、物理、英語に力を入れていきたいです。このことから普通科の理系に進むことが僕の夢を達成するための選択だと考えます。さらに、勉強と部活動との両立を果たすためにも、今のうちから一つ一つの授業への姿勢や予習、復習などの家庭学習も見直していき、改善できるよう頑張りたいです。

3組 T. M. さん

私の将来の夢は、理学療法士になることです。私は人と接することが好きで、自分が直接人と関われる仕事に就きたいと思い、この仕事を最終目標として頑張っています。理学療法士になって怪我のリハビリの手助けをすることはもちろんですが、患者さんの心のケアもできる理学療法士になりたいと思っています。怪我をして落ち込んでいる人や障がいなどで悩んでいるひとを励まし、心身ともに元気になってもらいたいです。このような仕事に就くにはそれまでの努力がとても大切なので、これからの興譲館高校で沢山学んで進路を実現させられるように頑張っていきたいです。

4組 K. T. 君

僕の将来の夢は、システムエンジニアになることです。そのためにも、僕は理系に進み大学を出て情報の分野に行きたいと考えています。この職業に就きたいと思った理由は2つあります。1つ目はコンピューターに対して興味があるからです。2つ目は自分は数学が好きなので、それに合った分野だと考えたからです。今の自分の学力では志望大学にはまだまだなので、これからの勉強を頑張っていきたいです。そして、高校3年間、悔いの残らないように頑張って生活していきたいです。

5組 N. R. さん

私の将来の夢は、薬剤師になることです。特に薬の開発に携わりたいと考えています。細かいものを作るのが好きというのも一つの理由ですが、薬は必ず必要になるものだということが一番の理由です。今必要とされている薬を開発することができれば、たくさんの人々の苦しみを軽くすることができます。ですから私は、理数科に入り「世のため、人のため」に行動できる薬剤師になれるよう、努力していきたいと思っています。



◎学習時間調査が始まります。

6月15日(月)～21日(日)

期末テストに向けて計画的な学習を進めよう

学年主任として初めてのクラスマッチでした。クラス一丸となった応援、勝利と敗北が全て我が身の事のように(?)感じてしまいました。その中でも、女子綱引きで2年生に勝利した瞬間は最高でした。現3年生は1年生の時から綱引きが強く、まあ仕方ないですね。来年は優勝できるはずです。また、男子騎馬戦も今までの1年生には無いガッツを感じました。今後が楽しみです。表紙にあるように、**1年2組の「総合優勝」は史上初!**です。少なくとも、私のいた過去9年間では無かった快挙です。後藤美穂監督の元「最高の準備」をしてのぞんだ成果でしょう。大きな拍手をおくりましょう。

さて最高の準備が必要なのは、何もクラスマッチだけでは無いことは皆さん十分にわかっていることです。このたび、男子ホッケー部が県優勝を果たし(22年ぶり2回目!)今週金曜日から岩手で開催される「東北大会」に出場します。各県代表6チームから上位2チームが、京都で開催される全国高校総合体育大会(通称インターハイ)の出場権を得ます。昨日は新潟遠征、本日は川西町人工芝ホッケー場にて練習しました。その練習後のコーチの言葉が印象的でした。男子コーチの小池さんは本校の卒業生で、本校ホッケー部の初代キャプテンです。高校の教員をされていますが、週末に練習を見て頂いています。その言葉は「**最高の結果を得たければ最高の準備が必要だ**」です。今までできる限りの練習を積み重ねてきましたが、今日からの1日1日の「最高の準備」が勝負を分けるということです。それは、個人の技術にさらに磨きをかけることや、食生活を含めた体調管理に気を配ることであり、ユニフォームやシューズなどの商売道具を点検し、忘れずに持参することも含まれます。1つ1つを蔑にすること無く、かつチーム全員が同じ気持ちで「最高の準備」をして大会に臨めば、必ずインターハイに行けると私も信じています。3年生の最後は京都で迎えてあげたいものです。

ホッケーに限らず、高校生の部活動はいずれ「最後のとき」があります。吹奏楽や野球は正にこれからが勝負です。1年生として選手であろうが無かろうが、チームのためにできることを精一杯やってほしいと思います。また3年生が引退した部活動では、すでに皆さんが主役です。泣いても笑ってもあとは高々2年間の部活動です。2年後の「最高の結果」を目指して「最高の準備」を今から積み上げることです。来年、そして2年後には米興から多くの部活動が「全国大会出場」となることを期待しています。また、日々の練習を、日本一の強い気持ちで、日本一の練習と準備ができれば「日本一」は夢ではありません。最も高い目標を持ち、その目標に本気で向かうこと、それこそが学年目標である「**夢**」**実現**です。

さて、6月15日(月)は進路・科系選択本調査の提出日です。まだ迷いのある人もいるでしょうが、どのような科系選択も進路選択も「正解」や「間違い」は決してありません。米興生のようにバランスのとれた心身の実力を備えていれば、理数科でも理系文系でも苦手を克服し、得意を伸ばせるはずです。また、大学卒業後はどんな仕事でも一流になれるはずです。それは、多くの卒業生が証明しています。**アナタが自分で決断した道は「正解」です。**アナタが、グズグズと悩んで、あるいは何も考えていなくて、結論を先延ばしにしているとすれば、それがどんな選択であっても「間違い」です。部活動があと2年間であるように、大学入試本番も2年と半年です。もう、そのための「最高の準備」をするべき時期です。1年生でできる準備が、大学のオープンキャンパス参加、夏山学習合宿、山形大学医学部の「医師・看護体験セミナー」、東北大学「科学者の卵」への参加です。

話は横道にそれますが、学年便り5号に書いた「夜11時まで応募書類を書いていた生徒」は見事、科学者の卵に採用されました。これこそが「最高の準備」による最高の結果です。他の人ができないことをやったのですから負けるわけありません。なお今回採用とならなかった人は、「学校推薦」による応募が近々あります。皆さん良い文章を書いていたので、それに加筆し再度応募してみましよう。1回や2回のチャレンジで凹まないことです。また、前回エントリーしなかった人も興味があれば相談して下さい。科学者の卵に参加することは、東北大学合格への「最高の準備」であり、そこで学んだことは他の大学でも大きく評価される講座です。大学受験は既に始まっています。

さて大学受験まで話が進みましたので、今できる大学合格への準備について、1年生の今だから伝えておこうかと思えます。たとえば、東北大学を例にすると受験の機会は4回ありますが、最も早い時期に行われるのは3年生の10月に出願する「AOⅡ入試」です。こちらは現役の高校3年生のみ出願可能であり、東北大への入学を熱望しかつ高校時代に様々な実績を残した人が対象です。11月に面接と学科試験があり、英語が必修で数学・物理・化学から2科目を選択します。昨年度は6名が出願し2名が工学部機械知能航空工学科に合格しました。1名は理数科で、理数科のSSH活動が大きく評価されたことと、選択した数学が高得点だったことです。もう1名は普通科理系で、彼はフェンシング部だったので研究などの専門分野の実績は無かったものの、夏休みに自分から教授にメールをして研究室を訪問しています。部長だったことや車好き(?)だったことも評価されたかもしれません。異なるタイプの2名ですが共通していたのは「**高校3年間の評定平均が極めて高かった**」ことです。AOⅡの出願条件が「平均4.3以上」ですので、それは楽に超えていたということです。また、山形大学医学部医学科の推薦基準も「平均4.3以上」であり、昨年度合格した彼も評定平均は5.0にはほぼ近いものでした。もっとも全国すべての医学部医学科はセンター試験の成績で決まりますが、出願できるか否かは現役生にとっては大きな問題です。東北大や医学部医学科に係わらず、全国の国公立大学全てに「推薦入試」や「AO入試」という制度があり、その多くが「平均4.3以上」を求めます。自分は無理!と思った人はそれでもいいのですが、1つの大きなチャンスを失うことになりません。自分の可能性に賭けてみるか!と奮起した人は狙ってみるべきです。私達ホッケー部の優勝は偶然では無く、2年前から狙って獲得した必然です。推薦やAO入試を強く勧めるものではありませんが、そういう入試制度があり、全国の高校1年生に等しくチャンスが与えられていることは知っておきましょう。そして日頃の学習を大切にすることです。3年生は受験生といわれますが、何も特別なことはしていません。「1, 2年生時の復習」です。特にセンター試験は「高校の教科書で習ったことから全て出題される」試験です。ある時に突然受験生になるのではなく、アナタ達は既に受験生なのです。ですから、高い評定を得るということは、高い実力を有していることと同値なのです。

今日が「**1学期期末考査の2週間前**」です。中間考査前に話したように、今日からの2週間は学びに専念する2週間です。期末考査中も大きな学びの時間ですから計3週間です。定期考査の3週間×5回=15週間は、1年間の15(週)÷52(週)≒30%の時間です。最低それ位の時間を学びに尽くさなければ、どんな神様もアナタの味方になってくれません。中間考査の反省を踏まえて、今回の考査は「最高の準備」をして臨んでみましょう。アナタ自身が知らないアナタの真の実力があるはずです。

17日(水)に「**東京大学オープンキャンパス**」についての説明会があります。参加を希望する人は集まって下さい。入学時に話したことです。目指すなら「日本一の大学」を目指しなさい。終り!

